

～第12回(平成26年度)学生生活実態調査報告書から検証～

兵教生とアルバイト

学部生と大学院生で
就労率に大きな差

学部生は入学後「アルバイトをしている」「したことがある」を合わせると約95%となる。大学院生は約40%で、現職教員の割合が高いことから「できない」が約42%となっている。これらは2年前の前回調査とほぼ同様の傾向。なお、全国大学生生活協同組合連合会の第49回学生生活実態調査ではアルバイト就労率は約68%と報告されており、本学はそれと比べてやや高い。職種は学部、大学院ともに「サービス」「塾の講師」「家庭教師」が上位を占める。学部の前回調査では「家庭教師」「サービス」「塾の講師」の順であったが、今回は順位が入れ替わり、「サービス」が突出している。いずれにせよ、学生生活を脅かす「ブラックバイト」にはくれぐれも注意していただきたい。

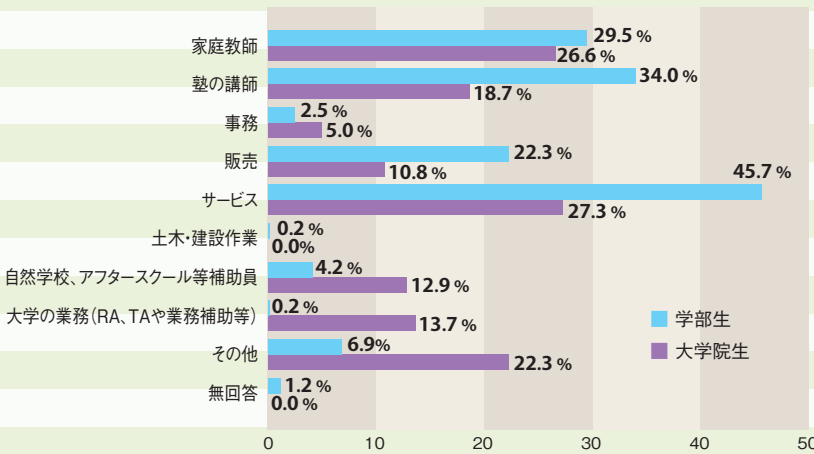
子どもたちの
成長を実感



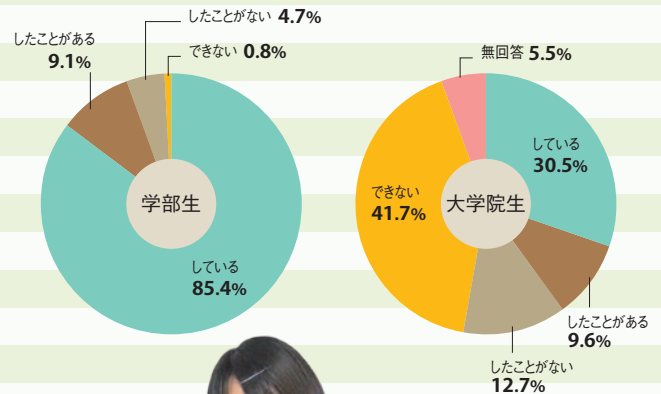
あ だ ち か い と
足立快斗さん
専門職学位課程
授業実践開発コース2年

小学校の教員を目指すに当たってプラスになればと、体操教室のコーチのアルバイトを始めました。主に跳び箱や鉄棒、マットなどの器械運動を幼児や小学生に指導しています。できることがどんどん増えていく子どもたちの成長を間近で見ることができ、このアルバイトでよかったと思っています。どのアルバイトも自分にとって良い経験になると思います。まだアルバイトをしていない人は、一度やってみてはいかがでしょうか!!

アルバイトの職種は何ですか
(2つまで回答可/アルバイトをしていると回答した者のみ)



本学に入学後アルバイトをしていますか
または、したことがありますか



塾の講師として個別にさまざまな学年の生徒を指導しています。授業の準備や後輩の指導、保護者宛てに授業報告のメール送信などの事務作業と勤務時間外労働も多く、他のバイトをしている友達と比べると正直、金銭的に割に合っていないと感じることもあります。しかし、生徒がテストでいい点数を取ったり入試に合格したりしたときは達成感があります。しんどいことは多いですが、これからも続けていこうと考えています。

指導経験が
将来のプラスに



や じ ま し ょ う た
矢嶋翔太さん
学校教育学部
自然系コース3年

身に付いたのは
仕事を見て学ぶ姿勢



あ お の な る み
青野成美さん
学校教育学部
学校教育系コース3年

部活の先輩の紹介で、1年生の夏ごろから和食店でアルバイトをしています。それまでアルバイトをしたことはなく分からないことばかりだったのですが、優しく仕事を教えてもらいました。ここでの経験を通して「仕事は見て学ぶ」と言われなくても自分で判断して動くことを学びました。今では私が後輩に仕事を教える立場になりましたが、全てを言って教えるのではなく、時には背中から示せる先輩になりたいと思っています。